



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.31

1 病院長挨拶 ～ アフターコロナでどう変わる? ～

コロナ禍の影響は、世の中の急性期病院の収益を10%程度引下げましたが、それは主に患者数の減少に因ります。一方で、どの病院も一人当たりの単価は、上昇しているようです。こうした事象は、軽症で診療密度の低い患者層の診療機会が減った可能性が一因として考えられます。このような中、他の業界と同じく医療界でもアフターコロナで、患者の受療行動は元どおりにはならないのではないかと危惧しています。事実、オンライン診療なども、最初は時限的な措置と言うことで医療界も黙認していましたが、新総理就任後、我が国のデジタル社会の立ち遅れを挽回することが優先政策の一つとなり、その普及速度は存外早まるかも知れません。今のところ、それに対して医療界では慎重な姿勢を崩していません。

もしテクノロジーが真に革新的で世の中をすっかり変えるものであることが予想されるなら、旧来の制度、やり方に固執せずに、新しい技術を最も活用できる制度設計にした方が発展的ではないでしょうか。図らずもコロナ禍で一般に普及したテレワークやウェブミーティングは、私たちの働き方を大きく変えようとしています。

東日本大震災で脱原発という、それまで考えもしなかった方向転換が起こったように、コロナ禍から今後の社会では、どのような大転換が引き起こされるのでしょうか。しかしどのようなことが起きても、医療自体は消失することはありません。この危機を機会と捉え、行き詰まった今の医療制度そのものを、自らも大改革する覚悟を持ってはどうか？変革こそが生き残りのための唯一の道であることは本当だと私は信じています。

令和 2年 12月 新小山市市民病院 理事長・病院長 島田 和幸

2 TOPICS

小山市近郊地域医療連携協議会総会が開催

翼の舎病院を新会員として承認～15病院に

10月20日（火）小山市近郊地域医療連携協議会の総会が開催されました。

この協議会は「小山市近郊地域における救急医療体制の整備や完結する医療提供体制の充実等を図ることを目的」として小山市近郊の病院で構成されており、今回、12月1日から開院する翼の舎病院が承認され会員は全部で15病院となりました。

冒頭、島田和幸会長（当院院長）からは、「超高齢社会のなか人口減少を迎えるにあたり、当会の存在は重要であり継続推進していきたい」などの挨拶がありました。総会では、各部会（看護・連携・医療技術・事務）からの1年間の報告を行なわれ、コロナ禍にあっても部会を継続し、それぞれの問題を協議し、顔の見える関係が構築されていたことが理解できました。

また、翼の舎の新会員承認時に病院長の長岡正範先生からご挨拶をいただいた他、昨年度中に新院長、副院長となられた城西病院藤田院長、南栃木病院千葉院長、結城病院越智副院長からもご挨拶をいただき、粛々と総会は進行されました。

コロナ禍で感染対策をほどこした中でしたが、久々の交流に「感慨深い」との喜びの声があったことが印象的でした。



目次:

病院長挨拶	1
新任医師紹介	2
お知らせ	3
新型コロナウイルスへの対応...	4

ハイライト

- 10月に新任医師が5名入職いたしましたのでご紹介させて頂きます。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率の報告をさせていただきます。
- 放射線科より共同利用について検査枠を追加しましたのでお知らせ致します。
- 新型コロナウイルス感染症対策について当院の対応をまとめました。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。



ポットラック カンファレンス 地域完結型 医療・連携の会

今年度の開催予定日をお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、詳細は、開催が決まりましたら再度個別にご案内させていただきます。

たくさんのご参加をお待ちしております。

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1山曜日

19時～20時
※ お休み中です ※



地域完結型 医療・連携の会

～ WEB ライブセミナー ～

奇数月、第3木曜日
19:15～

1/21、3/18



ドクターの紹介 10月採用の5名の医師を紹介します。

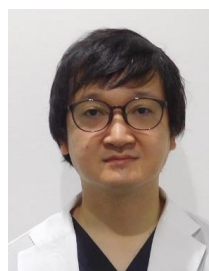


腎臓内科
部長
増田 貴博

令和2年10月より腎臓内科に着任しました増田 貴博（ますだ たかひろ）です。矢板市出身で、平成12年に山形大学を卒業後、自治医科大学で初期研修を受け、同大学腎臓内科に入局しました。これまで、糖尿病性腎症やネフローゼ症候群など体液貯留を伴う腎疾患で、適正な体液コントロールにより腎予後を改善させる診療に重点的に取り組んできました。

当院腎臓内科では、IgA腎症をはじめとする腎炎への腎生検検査と治療、腎代替療法（血液透析、腹膜透析）などを行っております。近年、糖尿病性腎症に対する新薬の登場などにより、慢性腎臓病の心・腎予後の飛躍的な向上が期待されています。

腎機能の低下を認める患者さんがいらっしゃいましたら、早めにご紹介いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



皮膚科
部長
塚田 鏡寿

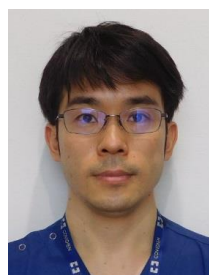
令和2年10月より新小山市民病院皮膚科部長に着任いたしました、塚田鏡寿（つかた きょうじゅ）と申します。

栃木県小山市で生まれ育ち、小・中・高・大学と栃木県から一度も出ることなく生きて参りました。母校である獨協医科大学を卒業後は獨協医科大学病院での臨床研修を経て同皮膚科へ入局し、令和2年9月末をもって退職するまでの間も医局内一筋で過ごして参りました。

この度、住み親しんだ小山市の中核とも言える新小山市民病院で医療に携わる機会を頂けたことを、心から有り難く思っております。

新小山市民病院では、ほぼ全ての皮膚科領域の知識と治療が求められていると強く感じております。また、大学病院や開業の先生方の中間地点としての役割も大きいと考えており、これまで以上に研鑽を積んで参りたいと思います。

小山駅東西駅前で長年に渡り医療に励んでいる両親を見習い、私も微力ながら小山市の医療に貢献できるよう尽力して参りますので、何卒御指導御鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。



外科
副部長
利府 数馬

令和2年10月から新小山市民病院外科に赴任いたしました利府 数馬（りふ かずま）です。

2009年に自治医科大学医学部を卒業後、栃木県内で僻地診療所を含めた義務年限を果たした後、2019年に自治医科大学消化器一般移植外科へ入局しました。義務年限中をふくめて、高齢者に対する消化器・外科診療を中心に携わってきました。

消化器および外科全般でお困りのことがありましたら、ご相談いただければ幸いです。今後ともよろしくおねがいいたします。

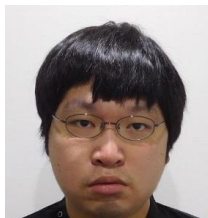


腎臓内科 医員
三浦 麻里菜

令和2年10月から自治医科大学より新小山市市民病院腎臓内科に赴任致しました三浦 麻里菜（みうら まりな）と申します。

地域の皆様に少しでも貢献できればと考えております。

小山地区医師会の先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



神経内科 医員
平野 秀哉

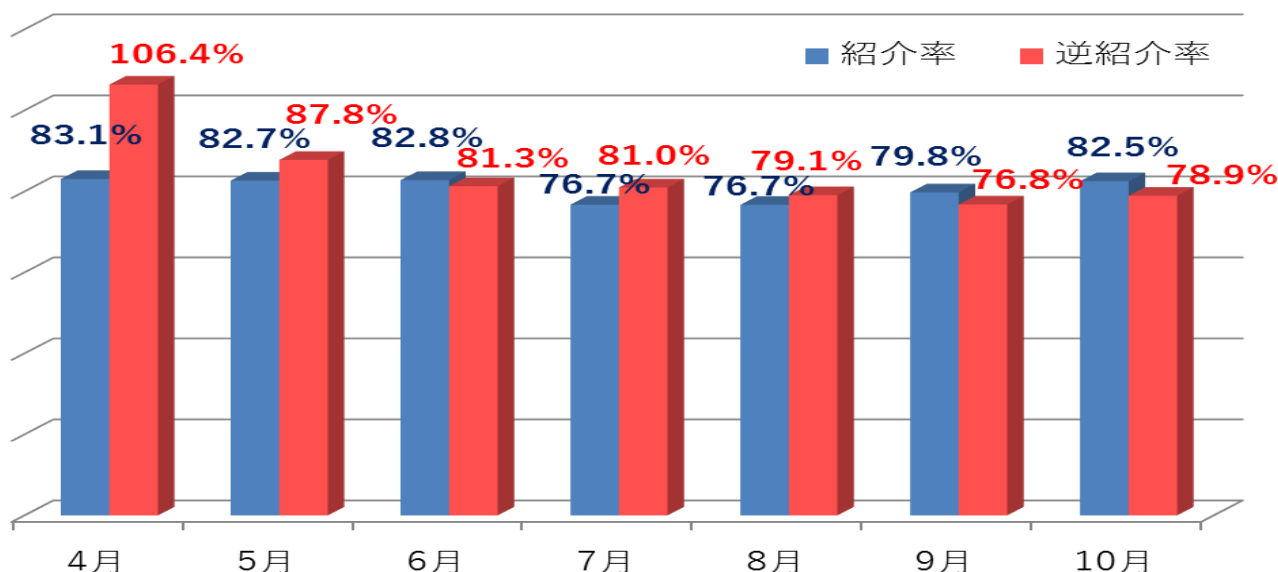
令和2年10月から新小山市市民病院脳神経内科に赴任いたしました平野秀哉（ひらの しゅうや）と申します。筑波大学を卒業後、自治医科大学附属病院で初期研修を行い、昨年度から脳神経内科で勤務をさせていただいておりました。今回は1年間の派遣としてこちらで勤務いたします。

特に興味がある分野は脳梗塞です。脳梗塞は超急性期対応を適切に行うことで劇的に神経症状が改善することがあり、迅速に対応を行うことが重要な疾患です。当院での勤務で地域の医療に微力ながらも貢献できればと考えております。

その他、変性疾患や炎症性疾患なども、これまでの経験を生かして幅広く診療にあたりたいと考えています。慣れない環境でご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

患者支援センターからのお知らせ

いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。



施設の共同利用について ～放射線科からのお知らせ～

MRIの検査枠が増えました。

月曜日の 15:20 1枠、火・木・金の 15:40
それぞれ1枠の合計4枠増やしました。

【予約の方法】

放射線科に直接お電話ください。

《TEL：0285-36-0261》

受付時間 8：30～17：15

※ 問診票、同意書に関しましては当院ホームページ(各種書類)からダウンロード可能となっております。

予 約 枠

月	14:00～15:20（5枠）	火・木・金
火	10:20～11:20（4枠）	15:40

当日検査不可 必ず事前予約をお願いいたします
それ以外の検査枠につきましてはご相談ください

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>



入院を要する

新型コロナ疑いの紹介は必ずご連絡を！

～ 新型コロナウイルス感染症に関するお願い ～

当院で**入院が必要**と考えられ、PCR検査などが必要と判断される場合、新型コロナ疑患者と一般患者の接触を防ぐ為に、**来院前に必ずご連絡**いただきますようお願い致します。また、患者さんに来院時の注意事項もお伝えください。

かかりつけ医⇒新小山市市民病院

連絡先

患者支援センター医療連携室

0285-36-0252

かかりつけ医⇒患者

※ 注意事項

患者さんには、
**到着後、院外から医療連携室
(0285-36-0252)へ必ず連絡し、車中待機な
ど職員の指示に従うよう依頼して下さい。**

※参考：発熱患者等発生時における栃木県の相談体制

受診の方法

①発熱等の場合、まずは**かかりつけ医等最寄りの医療機関に電話相談**



②かかりつけ医等最寄りの医療機関に**連絡できない場合**は、**受診・相談センター（コールセンター）に連絡**

受診・相談センター 0570-052-092

→診療・検査医療機関を案内します

※検査をするかどうかは医師の判断となります。

